

2021.

4

KU

BU

PRESS.

Blossom



# 目次



のぞいてみよう、KUBC ずもさん

神大生指南 Field

桜とさくら 3号棟

読む桜、聴く桜 いと



# のぞいてみよう、KUBC

このページでは、私たちが所属するサークル・  
KUBC神戸大学放送委員会がどんなところかをご紹介します！

KUBCはその名の通り、放送系のサークルです。  
ひとことに「放送」といっても、その活動はさまざま。  
KUBCには次の3つの「部」があり、それぞれ分野の違った  
活動をしています。

## アナウンス部

通称・アナ部。  
声を使って表現する活動をしています。  
ニュース原稿を読んだり、朗読をしたり、声劇やアフレコに挑戦することも。  
アナウンサーやナレーター、声優に興味のある人にもぴったり。



## 制作部

音声作品や映像作品の制作を行っています。  
MVやCMみたいなもの作れます。なかにはプロ顔負けの動画を作っちゃう人も。  
ここで身につけた動画編集のスキルは、いろんなところで役立ちそうです。



## フリーペーパー部

通称・ふりペ部。  
フリー冊子を作ったり、パンフレットやポスターを作ったりしています。文章を考えたりデジタルでデザインしたりするのが楽しい！この冊子も、ふりペ部員が中心となって作っています。



3部にわかれています、部をこえてみんな仲良くしています。  
アットホームな雰囲気がKUBCの魅力です。

もっと

## Q&Aで、KUBCをのぞいてみよう!

### Q. コロナ禍での活動は?

A. 基本的にオンラインで活動しています。

・アナ部…毎週土曜の午前中、zoomで集まってアナウンス練習。アナ部長の用意してくれた原稿を読んで、お互いにアドバイスし合います。

・制作部…各自が持っているソフトや機材を使って作品をつくり、YouTubeで公開。

・ふりペ部…PowerPointなどのフリーソフトを使って記事を作成。例年紙媒体で発行・配布している「KUBC PRESS」は、今年度はHPでオンライン公開。

### Q. 兼部・兼サーOK?

A. もちろんOK! 他団体との掛け持ちもよきですが、KUBCの3つの部のうちの複数掛け持ちする…というのもありなのです!

### Q. 学業・バイトとの両立、できる?

A. できます! 基本的に週1の活動なので、バイトや勉強、趣味の時間を十分にとれます。

### Q. KUBCのステキなところを教えてください!

A. いっぱいありますが、、、(笑)

・3つの部にわかれてはいるけど、制作部の音声作品にアナ部が出演したり、制作部の作品紹介パンフレットをふりペ部が作ったりするなど、コラボするのが楽しいところ。

・こんな原稿読みたい、こんな作品や記事をつくりたい…など、思いのままに活動できる場所。自由。創作意欲があればなんでもできる!

・サークルのことでなくてもそれ以外でも、不安なことは相談できる優しい環境。……などなどです。

KUBCに少しでも興味をもっていただけたら嬉しいです。  
新入部員、お待ちしております~!



Instagram : kobe\_kubc



HP : <https://kobe.kubc.jp/>

Twitter : @kobe\_kubc

# 神大生指南



～ふれっしゅまんに贈る六つの掟～

新入生の皆さん、合格おめでとう。そして、神戸大学へようこそ！  
ここでは、充実したキャンパスライフを送るのに重要な情報をご紹介します。

## 一、履修登録の仕組みを理解すべし

大学の授業は基本的に、期間内に履修登録をしないと履修できない(あらかじめ登録されているものもある)。  
自分にどれだけ単位が必要で、どの授業を履修すればいいのか、きちんと把握することが不可欠。  
履修登録に関する情報は「うりぼーポータル」に詳しく載っているので、早めにチェックしておこう。



## 二、90分授業に慣れるべし

神戸大学の授業は1時限90分。高校の約2倍。  
途中休憩がある場合もあるが、集中を保つのは簡単ではない。状況に応じて適度に休憩をはさむ必要がある。寝てもいいって意味じゃねーぞ  
特にオンライン授業の場合は、目の疲労に要注意。  
目薬や、ブルーライトカット眼鏡の使用がオススメ。



## 三、試験は全力で臨むべし

多くの授業はクォーター末に試験やレポートが課される。  
成績判定の比重にもよるが、これらをしっかり押さえなければ単位が取れないものも。日頃の学習内容を理解するのはもちろん、先輩や同級生から過去問をもらうなどの対策も有効だったり…



## 四、部活で交友関係を広げるべし

部活・サークルに入ってやりたいことをやり、息抜きするのもまたよし。大学の部活はネットで気軽に情報収集ができて、オンラインでも体験会ができるのが大きい。同級生だけでなく先輩との繋がりを作り、大学生活のいろはを教えてもらおう。我らKUBCへの入部もジャンジャン待ってるぞ！いやマジで



## 五、バイトに挑戦してみるべし

大学生になると解禁されるバイト。一人暮らしの人はもちろん、実家暮らしの人にもバイトはおすすめ。自分の自由なお金が入るのももちろんだが、何より社会経験として身のためになる。塾講師、飲食店、スーパーなど様々あるが、時給や家からの距離、シフト等自分にあったものを選ぼう。飲食店の場合まかない料理が出たりするのでお得かも。



## 六、相談相手を見つけるべし

これが一番重要。大学生活の4年間は、独りで切り抜かれるほど甘くはない(多分)。同じ学部生、学科生、部活の先輩、バイト先の先輩、親兄弟…誰でもいいから1人でも、信頼できる相談相手を見つけよう。特に同級生の知り合いがいれば、精神的にも余裕ができる。多くでなくていいから、友達は作っておきなさい



いかがだっただろうか。

日常生活も一変してしまったこの時代の中、高校とは一味違う大学生活を攻略するのにこの2ページが少しでも役に立てば幸いである。



春が来て、私たちは二回生になった。去年は結局ほとんどキャンパスに行くことはなく、いまだに同級生の顔は全然知らないけれど、それでも友達は何人かできるのだから面白い。

二回生になったということは、新入生に向けて新歓をする立場になったということでもある。去年は迎え入れられる側だったのに時間の流れは早いね、と隣でパソコンを叩いているさくらに言うところかもね、と全く心のこもっていない相槌が返ってきた。さくらは集中すると周りが疎かになるタイプだ。

仕方がないので私も部室の使用申請書類の記入を再開する。先輩たちは自分たちで部室を使うのにいちいち申請しないといけないなんて！と憤っていたけれど、私たちの代からしたらそれが当たり前だったのであまり苦だとは思っていない。だから書類記入を引き受けているわけだけれど、それをさくらに言ったら「わざわざ自分から仕事を増やすなんて馬鹿じゃん」と軽蔑した目で見られた。どうせ春休みも暇だし、それに申請書類の記入のために部室に来

られるのが嬉しいので気に入ってるんだけどな、この仕事。私は部室の、このごちゃごちゃした独特の空気が好きなのだ。うまく言い表せないけれど、大学という感じがして楽しくなる。あまり他の人からの賛同は得られないけど。現に部室には私とさくらくらいしか来ない。

でも、作品作りのために部室が空いている日はほぼ毎日部室に来ているさくらもなかなかだと思う。前にそれを本人に言ったら、「部室の機材と墨工使用のためだから、アンタみたいに部室が好きかわけじゃないから」と怒っていた。でもそれだけのために三十分かけて登ってくるんだから、私に言わせればさくらも立派な部室好きだ。こんなことを言ったらまたさくらは怒りそうだから黙っておくけど。

そんなことを考えながら書類の空欄を埋めていると記入が終わった。あとはこれに印鑑を押して学務課に持っていけば手続き完了だ。

普段はバスだけど、天気がいいから今日は歩いて帰ろうかな。

そして新歓祭当日、私とさくらはブースで人を呼び込んでいる。と言っても最近は新入生もウェブ上で見たい部活のブースにあたりをつけて来ているから、呼び込んで実際に来てくれる人はあまり多くない。でもだからって堂々とスマホをいじるのはどうなの、さくら？

「人が来たらちゃんと対応するって……あ、こんにちはー。ぜひ見て行ってくださいねー、よかったらチラシどうぞ。……ほらね」

「外面だけはいいよねさくらって……あ、放送委員会です！ほらその男の子！アナウンスとか制作に興味ないですか！？」

「あの……アナウンス部ってここですか？」

「そうです！ほらさくら、呼び込みも効果あるよ」

「入部したいんですけど……新歓のサイトで見て」

「残念でした、やっぱり呼び込みは効果なしだね。」

こんにちは、君はアナウンス志望だよね？よかったらアナ練参加する？桜はアナ部だから今言えば設定してくれるよ」

「あっうん！初めまして、アナウンス部所属の水上桜です。桜先輩って呼んでね！で、お名前聞いてもいいかな？あ、あと「ZPM」も」

「藤田海斗です。「ZPM」はこれで……」

「あー、私は高馬さくら。制作部です。よろしくね、藤田くん」

「えっ、二人ともサクラなんですか？名前」

「そうそう、面白いでしょ？私は漢字でこっちのさくらはひらがなだけだね」

「別に面白くはないけど、お互いに呼ぶ分には特に困ることはないよ。あと私は基本的に高馬さんって呼ばれるし」

「……よし、登録できた！ではあらためて。アナ部として、これからよろしくね藤田くん！」

「……はい、よろしくお願いします、サクラ先輩がた」

新入部員の言葉とともに、グラウンドの桜が風にそよいで私たちのブースに花びらを落としていった。うん、今日も天気がとてもいい。



## 『桜の下で待っている』 彩瀬まる

表題作「桜の下で待っている」を含む5つの話からなる短編集。5編に共通しているのは、登場人物たちのふるさと、東北地方が舞台になっているという点であり、震災の話題にも触れています。人々の関係と一口に言っても親族、恋人、顔も知らない先祖と多様で、そのどれもが温かみのある文体で描かれており、周りの人に少し優しくなれるような物語です。

## 『獬(シエ)』 浅田次郎

「桜の咲いた日、リンが死んだ。」という簡潔な一文から始まる短編。飼っていたペットを亡くした鈴子は、ある店でシエという奇妙な伝説の生き物と出逢います。社会の中ですこしずつ心をすり減らしながらも前を向いて生きていく鈴子と、何千回と春を過ごしたシエが寄り添っている様子にはどこか不思議な安心感を覚えます。生まれ、死んでいく命と、咲いて散ってゆく桜の花が美しく重なっている作品です。

# 読む桜、

春といえば桜、お花見…でも、桜は見て楽しむだけじゃない！

桜にまつわる  
小説や音楽で  
春をもっと満喫しよう！

# 聴く桜

## 『桜の樹の下には』 梶井基次郎

教科書にも登場する「檸檬」でお馴染みの梶井基次郎による作品ですが、「桜の樹の下には屍体が埋まっている！」という衝撃的な書き出しに驚かれる方も多いかも知れません。恐怖を煽るほど美しい桜を見て不安になると同時に魅了された話し手が自説を捲き立てており、目の前で熱弁されているような気迫が感じられる文章です。青空文庫で公開されています。

## 『あん』 ドリアン助川

タイトルにある「あん」とは、舞台となる小さなどら焼き屋の「餡」のこと。満開の桜が揺れるある春の日、どら焼き屋に訪ねてきたおばあさんがここでアルバイトをさせてほしいと頼み込み、そこから物語が動いていきます。特筆すべきは、季節が巡りまた桜が咲く2回目の春が来て話が締めくくられているということ。映画化もされていますが、プロローグ・エピローグともに穏やかな桜が印象的でした。

## 10時の方角/sumika

人気バンドSumikaの2ndアルバム「Chime」に収録されている明るく爽やかな一曲。今までの自分との別れと新しい世界との出会いを歌い上げており、人生を歩んでいくことを自転車に乗って進むことに例えた歌詞は、親に支えてもらっていた幼少期から独り立ちし、失敗することもあるけれど前を向いて生きようと背中を押してくれます。

特に「桜前線とご一緒に私も戦線に赴くのです」はこの春から新生活を始める人に是非聴いていただきたいフレーズです。

## さくら/amazarashi

語りかけるような独特のボーカルや実験的なライブで知られるamazarashiの春ソング。

四季の春に加えて人生の春、すなわち青年期にもスポットを当てているのではないかとされる切実な歌詞には胸に迫るものがあります。「僕らの旅を『青春』なんて名づけて過去にするな」という箇所は特に大学生の皆さんの心に響くのではないのでしょうか？ 華やかな桜ソングでもなく、わかりやすい応援でもないですが、まだまだ人生はこれからだという感情をかき立ててくれる歌です。

## 桜の季節/フジファブリック

フジファブリックが2004年にメジャーデビューした際の初シングル。

「最後の花火に今年もなったな」というサビで有名な『若者のすべて』でこのバンドを知っているという方も多いのではないのでしょうか。今は亡きボーカル志村正彦さんの気怠げで温かみのある歌声に、別れの季節でもある春のやるせなさを感じる楽曲です。

ミュージックビデオでは女子学生2人が教室や通学路でどこか物憂げな表情を浮かべており、言葉は発さないものの2人が別の道を歩むことを思わせる物語になっています。

## 読む桜、聴く桜

「読む桜」を4作品、「聴く桜」を3作品ご紹介しましたが、お楽しみいただけましたか？

時代を超えて愛される桜は、小説や音楽に限らず映画や漫画の題材、名前にも広く使われています。

以前のように大勢でお花見をすることは叶わなくても、こうしておうちで1人桜の魅力に浸ってみるのも良いかもしれません。

## 編集後記

表紙

アナログ人間なので、パソコンにはやく慣れたいと思います  
あらい

のぞいてみよう、KUBC

来たれ新入部員～☆  
(ふりべ部に来てくれたらいいな。)  
ずもさん

神大生指南

指南とか偉そうなこと言えるほど  
去年登校してません  
Field

桜とさくら

人と人の関わり、繋がりに重きを置いて  
生きていきたいですね。  
3号棟

読む桜、聴く桜

まだ大学の桜を見たことがないので  
今年こそはと思っています。  
いと